

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	朝霞第五中学校 第2回学校運営協議会	
開催日時	令和8年7月14日（火） 午後3時00分から午後4時10分まで	
開催場所	朝霞第五中学校 2階図書室	
出席者の職・氏名	鈴木 律子（元朝霞五中保護者代表連絡会代表） 要害 映子（法務省人権擁護委員） 和田 雅子（宮戸町内会長） 古谷 敦（朝霞市障害者ふれあいセンターあさか福祉作業所長） 森泉 良一（埼玉県スクールソーシャルワーカー） 金子 康雄（朝霞第一中学校スクールサポーター） 鈴木 康之（朝霞第五中学校長）	
欠席者の職・氏名	片村 榮博（元朝霞第三小学校 PTA 会長） 松本 欣巳（朝霞第三小学校長）	
議題	・1学期の教育活動の実施状況 ・「創立50周年記念事業」「探究的な学びの実施」「部活動の地域展開」に向けての協議	
会議資料	別紙のとおり	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☒ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☐ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 会長による確認	
傍聴者の数	なし	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

- 1 開会（五中教頭）
 - 2 挨拶（五中校長）
 - 3 1学期の教育活動の実施状況
 - ・入学式、始業式
始めの会と終わりの会を一同に会し全員で行うことと、教職員数を踏まえた円滑な運営を考慮し、全校で実施する現在の方式を採用している。
 - ・体育祭
午前中で主要プログラムが終了する現在の実施方法について、今後は開催時期やプログラム構成などを検討課題としている。
 - ・定期テスト
1学期の中間テストを実施せず、期末テストのみとしている。定着して円滑に実施できている。
 - ・教育課程、学校行事について
 - 4 協議
 - ①「創立50周年記念事業」について
再来年度に創立50周年を迎えることから、記念事業の準備を進める必要がある。
 - ・記念事業では、航空写真撮影、記念講演会、記念誌作成、記念樹や石碑の設置、タイムカプセルなど様々な取組が行われたことがある。
 - ・卒業生や地域にゆかりのある方、特色ある職業に就いている方を講師として招くことも考えられる。
 - ・朝霞第五中学校卒業生や、教職員へのインタビューなども記念企画として考えられる。
 - ・記念事業実施には財源確保が課題となる。他校ではPTA会費を積み立てている例もある。
 - ②「探究的な学び」への支援について
 - ・進路をテーマにして、生徒の興味・関心を生かした探究活動を進めていきたい。そのために地域や企業、各委員の人的ネットワークを活用し、講師紹介や学習支援につながる体制を構築していきたい。
 - ・他校では企業から助言を受けながら成果物を改善する取組も行われている。
 - ・学校へ情報提供をいただき、人材や活動内容をリスト化しながら協力体制を広げていきたい。
- 主な意見は以下の通り
- ・朝霞市博物館や宮戸地区の遺跡・土器など、地域の歴史・文化資源を探究学習に活用できるのではないかと意見が出された。
- ③ 部活動の地域展開について
「朝霞市部活動地域展開ニュース」をもとに説明を行った。

④ 中学校自由選択制について

- ・小学校 6 年生を対象にパンフレットを送付している。入学者増と教室数の兼ね合いが今後の課題。

⑤ 施設・設備の安全対策について

- ・校舎火災を想定し、本校でも校内の安全点検を実施した。
- ・火災リスクに関わらず確認を行い、避難経路や救助設備についても点検している。
- ・救助袋やベランダなどの避難設備についても確認を進め、安全確保に努めている。
- ・校内の盗撮防止に向けた取組についても、昨年度に引き続き継続して実施している。

(委員からの意見)

- ・朝霞市内の多くの中学校には剣道部があるが、本校には設置されていない。そのため、地域の剣道連盟の活動に参加している本校生徒もいる。地域展開一つの活動形態である。

5 閉会